



大阪ガス

ガスファンヒーター

取扱説明書 43-736・43-737型
43-738・43-739型

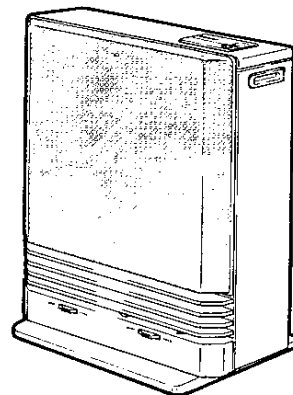
保証書付

本社ガスビルサービスセンター、支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	●541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	●557	大阪市西成区三宅島2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	●532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	●590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北原支社	●569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	●602	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	●578	豊大阪市船場2丁目3番17号	☎河内 0728(62) 1131
京阪支社	●573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	●650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(578) 5231
京都支社	●604	京都市中京区扇丸御池柳屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	●631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	●640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	●670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	●675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	●698	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	●525	津市通分町字尾垣600の1	☎東津 0775(62) 5311
彦根支社	●522	彦根市大康町12番11号	☎彦根 0749(22) 3131
(長) 浜営業所	●526	長浜市南島原町3番4号	☎長浜 0749(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

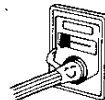
大阪ガス株式会社



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



換気必要

30分に1回
1分間程度



GC6A13A

ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは大阪ガスのガスファンヒーターを
お求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	4
●器具の設置	10
●使用手順	12
●使用時のご注意	17
●日常の点検・手入れ	18
●故障・異常の見分け方と処置方法	20
●長期間使用しない場合	21
●アフターサービスのお申し込み	22
●点検・整備のおすすめ(有料)	23
●特長	24
●寸法図と仕様一覧表	25
●本製品と快適な暮らしのために	26

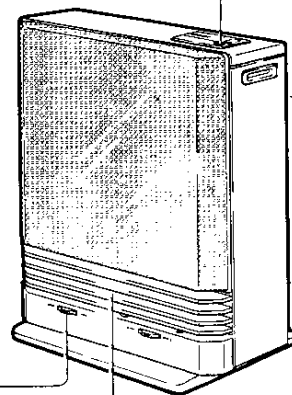
換気にご注意

この器具は、強制給排気式(F F式)ではありませんので換気が必要です。

各部の名称

〈正面〉

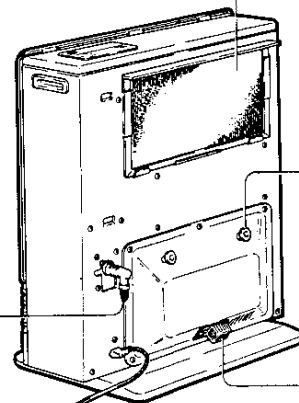
操作表示部分



温風吹出口

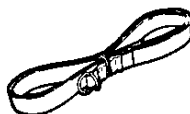
エアフィルター

〈背面〉



ホースエンド

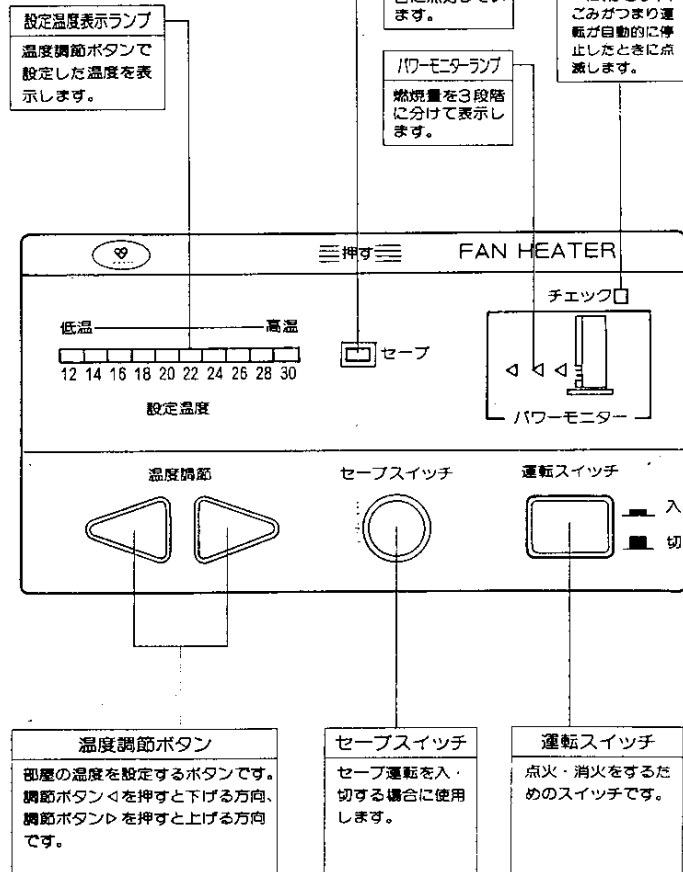
電源プラグ



バンド(付属品)

各部の名称

〈操作表示部分〉



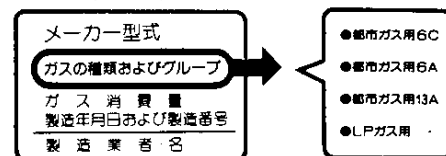
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- ガス器具本体の右側面にはついている銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)



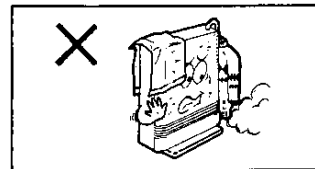
- ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類的一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧を確かめてください。
- この器具は、AC100V用です。お宅の電源の電圧が一致しているか確かめてください。
- この器具は50・60Hz共通で使用できる事が出来ます。

用途についてのご注意

- 器具に衣類やタオルなどを置いたり、かけたりしないでください。
(衣類やタオルなどがこげたり、器具の内部に熱がこもるなど大変危険です。また、器具の故障の原因となります。)

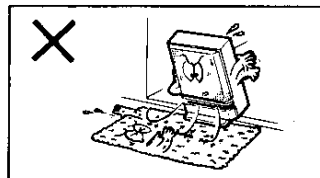


特に注意していただきたいこと②

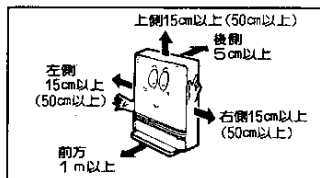
使用場所についてのご注意

●理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所、及び綿ほこりの多い場所でのご使用はお避けください。器具の故障の原因になります。

●家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のもの、危険物のそばなどで使用しないでください。
床面の不安定な場所では使用しないでください。



●右図の空間寸法がとれる場所でご使用ください。

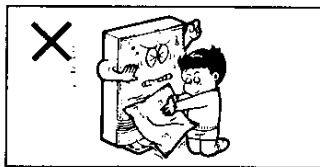


この空間がないと暖房効果がいちじるしく低下したり回りのものが変質したり、場合によっては火災の原因となります。

●右側・左側・上側のうち、いずれか一方は50cm以上あけてください。

●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。

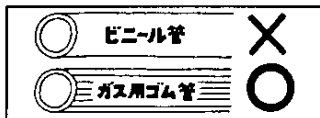
●温風吹出口の開口部をふさいだり、前に物を置かないでください。



器具内部に熱がこもり故障の原因となります。

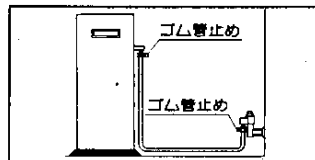
ガスもれ予防

●ゴム管はガス用ゴム管、またはガスコード(13A専用)を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。



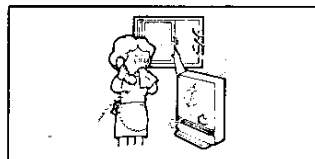
特に注意していただきたいこと③

●ゴム管はキズのない新しいゴム管を使用して、両端をゴム管止めでしっかりと固定してください。



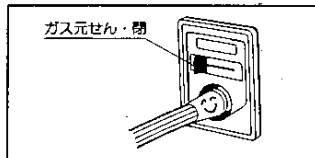
●ゴム管は使用3年位を目安に取り替えてください。

●ガスもれに気づいたときは、すぐの使用を中止しガス元せんを閉じ、窓や戸を全部開けてガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



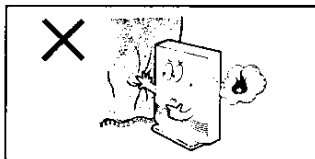
●ご使用になるときは、部屋のガス元せんを必ず全開にしてください。

●器具をご使用にならないときや、外出前また、おやすみ前には万一の事故がないよう必ず部屋のガス元せんを閉めてください。



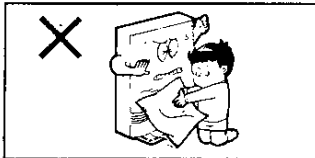
火災予防

●器具の上やそばに、燃えやすいもの(紙カーテン・家具・揮発油など)を絶対に置いたり、近づけたりしないようにしてください。



●紙・布・異物などを、温風吹出口に入れたりエアフィルターをふさいだりしないようにしてください。

●器具の近くでヘアスプレー・殺虫剤などを使用したり、器具にかけたりしないでください。



引火や爆発のおそれがあります。

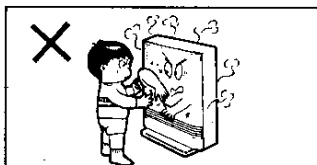
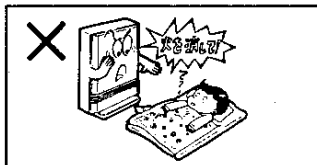
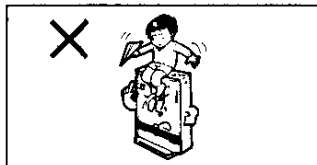
●外出・就寝時には、必ず消火してください。

●持ち運びのときは、必ず消火し、器具が冷えてから行なってください。

特に注意していただきたいこと④

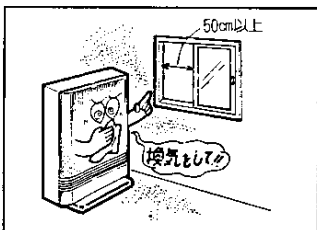
やけどのご注意

- 器具の上にしかけたり乗ったりしないでください。「やけど」や器具の変形の原因になります。
- 温風を長時間、直接からだに当てないようにしてください。
低い温度でも長時間当たりますと、「やけど」をすることがあります。
特に体力のない病気のかた・乳幼児・お子さま・お年寄りには回りのかたが充分注意してあげてください。
- 使用中は前面パネルから輻射熱が出ていますので高温になります。
- 使用中、及び消火後しばらくの間、温風吹出口及び前面パネルなどは高温になっていますので、「やけど」をされないように充分ご注意ください。特に、小さなお子さまが器具に触れることのないように、回りのかたが充分注意してあげてください。



換気のご注意

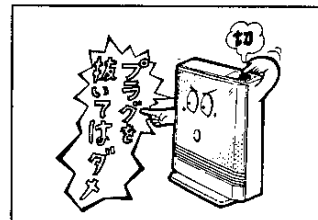
- 使用中は、30分に、1回1分程度換気扇を回すか、窓をあけるなどして、充分な換気を行なってください。
気密性の良いアルミサッシなどの窓のときは、特に換気に注意してください。
- 部屋の換気口は、つねに確保し物などでふさがないようにしてください。
- この器具は換気が不十分ですと自動的に燃焼を停止します。この場合、換気扇を回すか窓を開けるなどして換気を行なってください。



特に注意していただきたいこと⑤

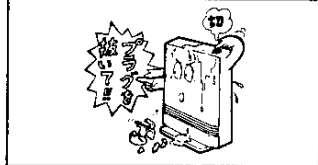
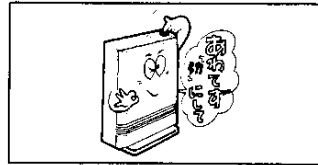
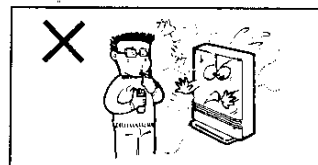
消火のご注意

- 消火は運転スイッチで行なってください。
電源プラグを抜いての消火または、消火後すぐに電源プラグを抜くことは、絶対に行なわないでください。(本体が過熱します。)
- 使用後は、必ず部屋のガス元せんを閉めてください。



異常時の処置

- ガスがもれていたり、換気扇の使用、他の電気器具の運転スイッチの「入・切」など、また、マッチやライターの使用は絶対におさげください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。部屋のガス元せんを閉めてお買上げの販売店または大阪ガス支社に連絡してください。
- 万一、異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合は、あわてずに運転スイッチを「切」の位置にもどし、部屋のガス元せんを閉めてお買上げの販売店または大阪ガス支社に連絡してください。
- 万一、器具に水をこぼして内部をぬらした場合は、運転を停止し電源プラグを抜いて、お買上げの販売店へご相談ください。
ぬれたまま運転すると、漏電・火災などの原因となることがあります。
- 器具の上に花びんをのせたり、水のかかるところでは使用しないでください。
- 雷時は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 停電になった場合は、運転スイッチを「切」にし、部屋のガス元せんを閉めてください。
通電後は部屋のガス元せんを開け、再度点火操作を行なってください。



特に注意していただきたいこと⑥

次の場合は異常ではありません。

- 初めて運転するとき、なかなか点火しない。

↓
ガス配管の中に空気が入っているため、点火操作を繰り返してください。

- 点火時「二オイ」がする。

↓
ガス配管の中に空気が入っている時や外気条件(厳寒時)によって起こることがあります。

- 点火したとき「ポツ」と音がする。

↓
室温条件(厳寒時)によって起こることがあります。

- 点火、及び消火のとき「コンコン」と金属音がする。

↓
金属の膨張・収縮によるきしみ音です。

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。点検、手入れの方法については、18～19ページをお読みください。

- 燃焼時「シュー」という音がする。

↓
ガスがバーナーに供給される音です。

- 使用中にチェックランプが点滅する。

↓
エアフィルターが目づまりです。エアフィルターを清掃してください。

- 消火しても温風が出てくる。

↓
器具内部を冷却するため約2分後に自動的に止まります。

- 操作時に「ビツ」と音がする。

↓
操作確認音です。

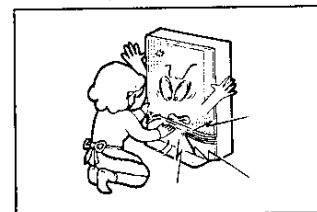
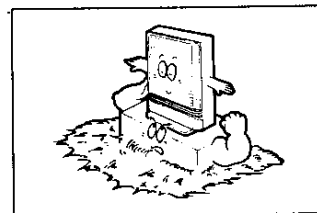
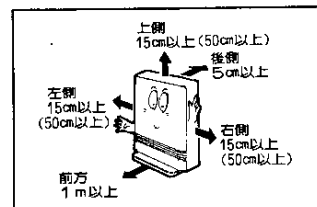
器具の設置

設置前の準備と確認

- 器具の設置場所の近くに部屋のガス元せんがない場合は、お買上げの販売店までは、もよりの大阪ガス支社へご相談ください。
- 梱包材(外表箱・保護材)を取除いてください。梱包材は、シーズンオフに器具の保管用として使用できますので、保管しておいてください。
- 使用ガス・使用電源は器具銘板の表示と一致しているかご確認ください。

設置上のご注意

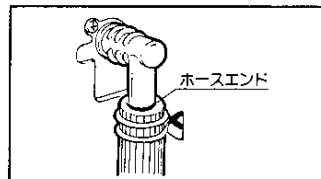
- 周囲に可燃物・危険物がない場所でお使いください。また必要な距離は必ずあけてください。
- 右側・左側・上側のうち、いずれか一方は必ず50cm以上あけてください。
- 前方に障害物があったりすると温風がすぐ器具内にもどり、室温調節ができなくなることがあります。
- 床面の不安定な場所には設置しないでください。特に前に傾けて設置されると温風によりジュータンなどが変色・変質することがあります。
- 毛足の長いジュータンの上で使用される場合は、じょうぶで水平な台の上に乗せて使用してください。
- 温風吹出口ルーバーの角度は変えないでください。温風が床材に当たり変色することがあります。



器具の設置②

ゴム管の接続

- ゴム管は内径9.5mmのガス用ゴム管を使用し、ゴム管接続部はホースエンドの赤線まで差込みゴム管止めでしっかりと固定してください。



- ガス用ゴム管は折れたり、ねじれたりしないようできるだけ短かくし（3m以内）、また器具に触れたり器具の下を通したりしないようにしてください。器具に触れているとゴム管が過熱して、ゴム管の寿命が短くなり危険です。
- ガス用ゴム管の継ぎだしや、二また分岐は、ガスもれなどの危険がありますので行わないでください。
- ガス用ゴム管のお取り替えの目安は約3年です。ガス用ゴム管が古くなりますと、部屋的气体元せんや器具せんから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガスもれの原因になることがありますのでご注意ください。
- ガスコード(強化型小口径ガスホース)は、13A器具のみ使用可能です。

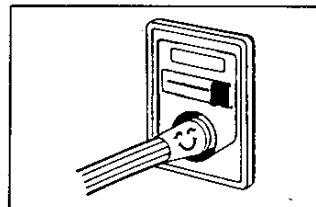
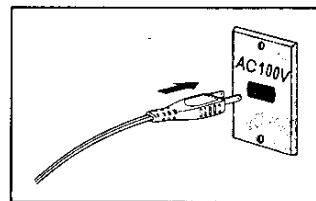
使用手順

はじめてお使いのとき

- 初めて運転されるときや、しばらく使わなかったとき、またはガス用ゴム管を取換えられたときは、ガス管内に空気が入っているため点火しないことがあります。この時「パワーモーターランプ」が点滅しますので、運転スイッチを押戻して「切」にし、再度押込み、この操作を繰り返してください。
- 初めて運転されたとき、温風吹出口から煙や臭いが出ることがあります。これは燃焼器に付着した油などが焼けるためで、まもなくなくなりますので部屋の換気をしながらご使用ください。

点火前の準備と確認

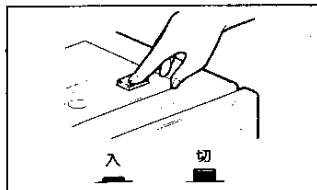
- 電源プラグをコンセントに差込んでください。
〈ご注意〉
- 運転スイッチが「切」になっているのを確認してください。
- 電源プラグは交流100Vに差込んでください。
- 部屋のガス元せんを開けてください。
〈ご注意〉
- 必ず全開にしてください。
- 部屋のガス元せんてで火力調節は行わないでください。不完全燃焼の原因となり危険です。
- この器具は、お客様が使われた状態(設定温度など)を記憶させておくために、運転スイッチを「切」にしてもマイコンは通電状態となっています。



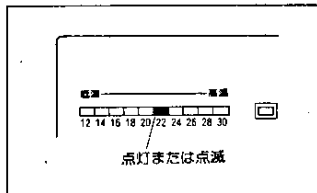
使用手順②

点 火

- 運転スイッチを押込んで「入」にしてください。
10～20秒後、燃焼が開始して「パワーモニターランプ」が点灯します。

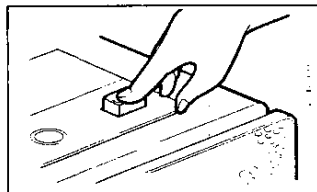


「設定温度表示ランプ」は、部屋の温度が設定温度にまだなっていない場合には点滅、設定温度以上の場合には点灯します。



＜ご注意＞

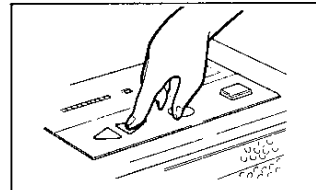
- 使用中に停電したときは、運転スイッチを「切」にしてください。
なお、再点火時に「ポツ」と音がすることがありますが、異常ではありません。
- 運転スイッチを押す動作が早すぎると、点火しないことがあります。
このときは、運転スイッチを「切」にもどして、ゆっくりと押してください。



使用手順③

室温調節

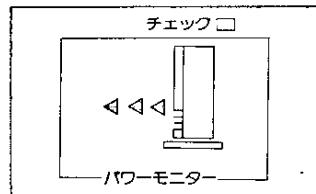
- 室温調節ボタン◀（下げる）▶（上げる）（2℃づつ変わります。）を押し好みの室温に設定してください。
- 室温調節ボタン◀を押すと設定温度が低く設定でき、▶を押すと設定温度が高く設定できます。



- 室温が設定温度にまだなっていない場合は、「設定温度表示ランプ」が点滅し、設定温度以上になると点灯に変わります。
この器具は、部屋の温度を設定された温度に保つため、自動的に燃焼を停止したり開始したりします。

パワーモニター表示

- 「パワーモニターランプ」は、燃焼量を大きく分けて3段階に表示しております。
（燃焼量は、室温に合わせてマイコンが自動調節します。）

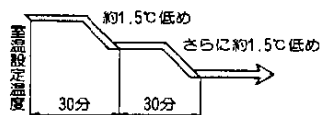


使用手順④

セーブ運転

セーブ運転「入」の場合

- 部屋の温度が設定温度に到達後、30分に約1.5℃、さらに30分後に約1.5℃、つまり1時間後に約3℃部屋の温度を自動的に上げて運転します。
(約3℃分の維持費の低下がはかれます。)



セーブ運転「切」の場合

- 設定した部屋の温度は、変わらずに運転します。

温風方向調節(フリーウィング機能)

温風方向調節レバーを調節することにより、温風方向を「ワイド温風」・「正面温風」、または「左サイド温風」・「右サイド温風」に変更することができます。調節レバーの位置は下表を参照してください。

温風の種類	温風方向調節レバー位置	温風方向
ワイド温風		
正面温風		
左サイド温風		
右サイド温風		

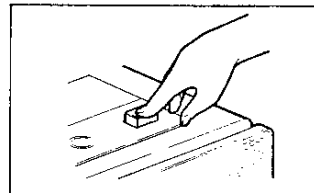
＜ご注意＞

- 温風吹出口は熱くなっていますので、暖房中に温風方向の調節をされる場合はご注意ください。

使用手順⑤

消火

- 運転スイッチを押して「切」にしてください。
全ての表示ランプが消灯します。消火後、約2分間は器具の過熱防止のためファンが運転を続け、温風吹出口から風が出ます。



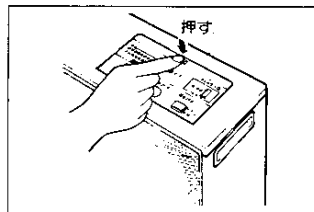
- 部屋のガス元せんを閉めてください。

＜ご注意＞

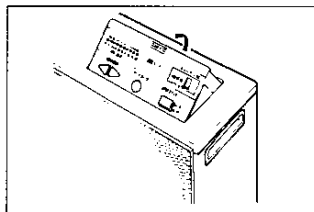
- 消火は運転スイッチで行なってください。
電源プラグを抜いて消火すると、器具が異常に過熱し器具の寿命を縮めますので、絶対に行なわないでください。
- 消火後、ファンが運転している間は、移動などのために電源プラグを強制的に抜かないでください。

操作表示部の使い方

- 操作表示部の上部を押しますと操作表示部の上部が上がり操作部が見やすくなります。



- もう一度押しますと操作部は元にもどります。



使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中に自動的に運転が止まってしまったときは、次の方法ならびに19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

1. 不完全燃焼防止装置

使用中に万一、バーナーが不完全燃焼するような状態になった場合、不完全燃焼防止装置が作動しガスをしゃ断し、燃焼を停止します。

- 部屋の換気を充分に行ない、器具の周囲の障害物を取除いた後、温風が出ていないことを確認してから再度点火操作を行なってください。
- 換気を行ってもたびたび、不完全燃焼防止装置が作動する場合はお買上げの販売店にお申付けください。

2. 消火センサー

ガス圧が低いときやガスの流れが一時的にしゃ断されたとき、また他の安全装置が働いて燃焼を停止したとき、バーナーへのガス通路を閉じ、生ガス流出による事故を防止する装置です。

- 原因をお確かめのうえ、再点火してください。

3. 過熱防止装置(ハイリミットスイッチ)

エアフィルターが目づまりや温風吹出口に障害物があり、器具内部が過熱しかけた場合には、過熱防止装置(ハイリミットスイッチ)が作動して燃焼を停止します。(器具が冷えれば再運転ができます)

- エアフィルターのお手入れ(18ページ参照)または障害物を取除いてください。

4. 転倒時ガスしゃ断装置

転倒したり、本体をゆすると転倒時ガスしゃ断装置が働いて燃焼を停止します。もう一度点火操作を行なってください。

5. 過電流保護装置(電流ヒューズ)

使用中になんらかの原因で過電流が流れたとき、電流ヒューズが溶断し運転を停止します。

- お買上げの販売店へお申付けください。

6. 停電時安全装置

燃焼中に停電(瞬時停電も含む)になりますと安全装置が作動し運転を停止します。

- 停電時は使用できません。
- 再び通電してもランプは点滅しており、自動的に運転しませんので点火操作を行なってください。

日常の点検・手入れ

長い間お使いいただくためには、お使いになるみなさまの日ごろの点検・手入れが必要です。次の点検・手入れはぜひ守って実行してください。

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れは、器具を十分に冷えてから必ず電源プラグをコンセントより抜いて行なってください。
- 点検・手入れについては、下記の日常の点検・手入れ以外はお買上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 安全装置・ファン・燃焼器・電気部品・ガスの通路部分の分解はしないでください。

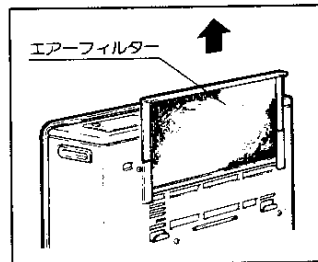
点 検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエントの赤線まで充分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなったり、ひび割れたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスがもれていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

お手入れ

エアフィルターが目づまりは、温風量を低下させ、場合によっては過熱・変色の原因となり、器具の寿命を縮めることにもなります。

- 器具背面のエアフィルターのはこりを掃除機でよく清掃してください。
- エアフィルターは上に引っぱりますと取外しができます。よごれがひどい時はぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。



一週間に一回以上

日常の点検・手入れ②

ときどき

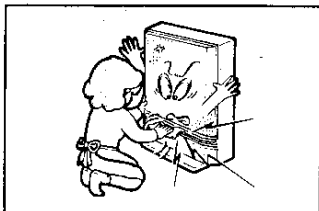
器具外装のお手入れはあまり汚れたのひどくならないうちに行なってください。

やわらかい布をぬるま湯にひたし、よくしぼってからふいてください。

●揮発性の溶剤(ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など)、スプレー、化学ぞうきん、みがき砂などを使用しますと、色があせたり、つやがなくなることがあります。



●温風吹出口を強くふきますと、吹出口のルーバーが曲がり、温風によって床材などを焦すことがありますのでご注意ください。



●温風吹出口に白い粉が付着することがありますが異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

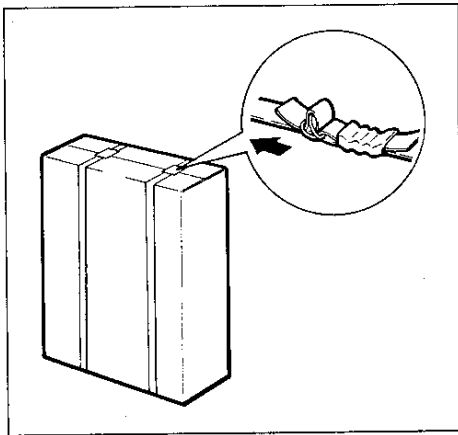
現象	表示部				ファンが回転しない・流暢しない	燃焼がいつのまにか止まった	異常がある	部屋がこたつく	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
	全表示ランプ点滅	チェックランプ点滅	パワーモーターランプ点滅	設定温度表示ランプ点滅							
原因				26/30/12							
停電中では						○	○			他の電気器具で確認してください	
停電後、再通電されたとき	○					○				点火スイッチを押し直してください	
電源プラグが抜けている						○	○			電源プラグをコンセントに差込んでください	
ガス元せんの開き不足		○	○	○						全開にしてください	
ガス元せんの開き不足		○	○	○		○	○		○	全開にしてください	
ガス管の中空気が強まっている		○	○	○		○	○			点火操作を数回繰り返してください	13
ガス管が折れている		○	○	○		○	○		○	ガス管の折れをなおしてください	11
LPGボンベがなくなった		○	○	○		○	○		○	LPGボンベをお取り替えてください	
ガス元せんを閉めた		○	○	○		○				全開にしてください	
ガス管のひび割れ・穴あき								○		新しいガス管をお取り替えてください	11
ガスの種類がちがっている	○	○	○					○		ガスの種類が合っていないがかったら、お買上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にお申し付けください	4
エアフィルターが汚れている	○					○		○		エアフィルターを清掃してください	18
点火装置の故障						○				お買上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にお申し付けください	
ファンの故障					○					お買上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にお申し付けください	
器具内にほこりがつまっている						○	○		○	お買上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にお申し付けください	
ガス圧力が低下している						○	○		○	他のガス器具を止めて、もう一度点火操作を行なってください	13
標準室温を満足していない								○		標準室温を満足していない場合に、お買上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。	24
温風吹出口がふさがれていたり前方に障害物がある	○					○			○	取除いてください	10
部屋の空気中の酸素が異常に少なくなつた		○	○			○				換気を充分行なってください	7
本体が倒れた場合						○	○			点火スイッチを押し直してください	
本体を強くゆすつた場合						○	○			点火スイッチを押し直してください	

以上の方法で点検し処置しても直らないとき、または点検しても心配なときはお買上げの販売店または、もよりの「大阪ガス支社」へご相談ください。

長期間使用しない場合

暖房シーズンが終わって、次のシーズンまで器具を保管して置く場合、次のような点検・手入れを行なってください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 部屋のガス元せんを閉じ、部屋のガス元せんと器具のホースエンドからガス用ゴム管を外してください。
ガス用ゴム管を外した部屋のガス元せんには、必ずゴムキャップを取付けてください。器具のホースエンドにもゴムキャップなどを取付け、内部にほこりの入らないよう処置してください。
 - エアーフィルターのごみやほこりはきれいに清掃してください。
 - 各部のよごれをふき取り、外装箱に入れ湿気の少ないところに保管してください。
- なお、梱包の際は付属の樹脂バンドを下記の要領で使用してください。



アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、もしくはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名……(ガスファンヒーター)
- (2) 品 番……左側面に貼付してあります。

(例)

(N)43-736(U)

大阪ガス株式会社 **03**

- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道 順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
このガスファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

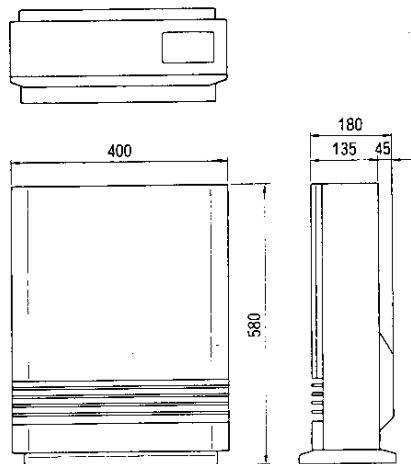
「点検整備のおすすめ」(有料)

- 長期間、安全快適にご使用頂くために、定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 「点検整備」は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にお申し付けください。(有料)
- 「点検整備」の内容は下記の通りです。
 - ① 機能部品の点検・確認
 - ② 清掃整備

特 長

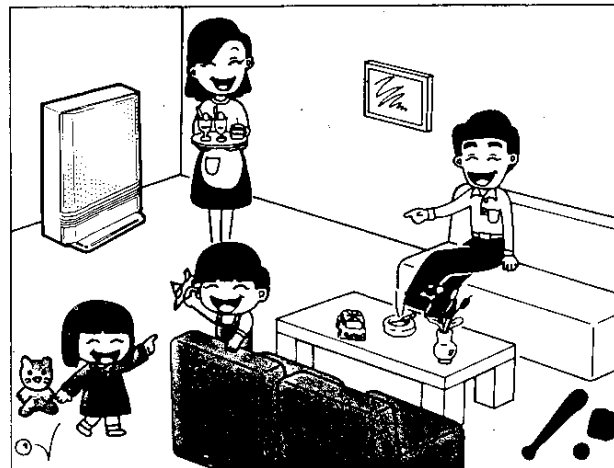
- 1** 器具せんは、操作の容易なプッシュボタン式。
- 2** 比例制御弁の動きによって室温の変動がほとんどありません。したがって快適性、経済性が向上します。
- 3** 温風と輻射熱の作用により、さらに快適な暖房が得られます。
- 4** セーブ運転システムの導入により、更に維持費の低下がはかれます。
- 5** 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。
- 6** 温風方向調節レバーにより、温風方向が「ワイド温風」・「正面温風」・「左サイド温風」・「右サイド温風」に変えられる「フリーウィングタイプ」です。

寸法図と仕様一覧表



項目		種別	43-736型 43-738型	43-737型 43-739型
ガス消費量	都市ガス	6C	2200kcal/h	3000kcal/h
		13A	2200kcal/h	3000kcal/h
		6A	2200kcal/h	3000kcal/h
	LPガス		0.18kg/h	0.24kg/h
外形寸法(mm)		高さ580×幅400×奥行180(ベース215)		
重量(kg)		12		
接続	ガス	φ9.5ガス用ゴム管		
	電気	AC100V 60Hz		
最大消費電力		最大 36W	最大 38W	
電源コードの長さ(m)		2		
給排気方式		室内開放式		
燃焼方式		ファンゼン燃焼式		
暖房方式		強制対流式		
点火方式		連続放電点火方式		
標準適室		6~9畳	8~12畳	
安全装置		不完全燃焼防止装置、消火センサー、過熱防止装置(ハイリミットスイッチ)、過電流保護装置、停電時安全装置、転倒時ガスシャ断装置		

本製品と快適なくらしのために



じょうずな暖房でゆとりあるくらしを！

家族があつまる居間、家族それぞれの部屋にじょうずに使いこなし快適な環境づくりにお役立てください。

TVも坊やものびのびと、笑い声ははずお楽しい夕べ。

家族みんなガイキキキすればそこに明るい対話が生れます。

暖かな部屋はみんなの気持ちゆとりをもたせます。

じょうずな暖房でくらしの幅を大きくひろげてください。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス社にご連絡ください。